

出会いと感動で地域を元気に！

民泊型修学旅行の誘致が始動



—民泊受け入れ家庭を募集中—

庄原市では、地域の強みである豊かなさとやま資源を活用した観光交流を進め、地域を元気にする「体験型修学旅行」を誘致する事業を始めました。

本格的な受け入れは平成28年度からですが、事業の中心になる「受け入れ家庭」の募集が始まりました。

東城町内の各自治振興区でも、地域の「生きがいつくり」と「経済効果への波及」を高めるため、連携してこの事業に取り組むことになりました。

都会の中学生、高校生と交流し、心あたたまる感動を体験するため、一戸でも多く民泊の受け入れにご参加ください。



なぜ民泊型修学旅行ですか？

近年、コミュニケーションを取ることが苦手な子どもが増えていますが、こうしたコミュニケーション能力の向上には「体験」や「交流」が効果的であると言われております。

子どもたちの健全な成長を図るため、全国的に農村や田舎での民泊体験が増え、観光地を見てまわる旅行から民家で生活体験する旅行のニーズが高まっています。

民泊ってどんなもの？

交流とコミュニケーションが目的のため、お客様扱いはせず、家族の一員として、家事や畑作業等を体験してもらいます。

食事豪華なものではなく地産地消にこだわり、調理や後片付けも一緒に行います。受け入れ家庭のありのままを体験してもらいます。



今後のスケジュールは？

平成27年3月15日	各自治振興区で受け入れ家庭の掘り起こし
平成27年4月～	受け入れ家庭の研修会、交流会、先進地視察等、体験受け入れモニターの実施（小学生の体験学習）
平成28年3月	全国ほんもの体験フォーラム in 高知（貸切バスで参加）
平成28年4月～	体験型修学旅行の受け入れ（中学生、高校生）

民泊の受け入れ家庭になるには？

農家、非農家は問いません。どの家庭でも受け入れができます。

添付の「庄原市さとやま体験民泊家庭申込書」を各自治振興区へ出してください。

民泊の受け入れ人員は？

1回当たり3～5人が目安で、体験料として一泊2食で一人当たり5000円程度が支払われます。（例：3名受け入れ→15,000円程度）

体験メニューの設定が難しい？

農家、非農家で違いはありますが基本的には何でもOKです。

例えば、家の掃除、お墓の掃除、障子の張り替え、保育所の送迎、庭の草むしり、畑仕事、野菜の収穫、川遊び、伝統芸能体験、公園散策、介護施設の慰問等々・・・

具体的には、市内の受け入れ家庭と交流しながら計画をたてます。

東城町自治振興連絡協議会の今後取り組みは？

- ① まずは、民泊受け入れ家庭の掘り起こしを行い、東城町内で最低でも60戸の登録をめざします。
- ② 登録いただいた家庭、庄原市さとやま体験交流協議会事務局、自治振興区等で、連絡会をつくり好ましい受け入れについて交流会や研修会を開催します。
- ③ 体験型修学旅行に関心を抱いていただくため広報活動を行います。



詳しいことは誰に聞けば？

庄原市さとやま体験交流協議会事務局
(庄原市観光協会内)

電話 0824-75-0173

